

- ⑥ これから開業される小児歯科医に勧めたい開業様式について
- 小児歯科専門の開業様式（咬合調整を含む）
 - 小児歯科・矯正歯科のみ開業様式（通常の成人に対する一般歯科は行わない）
 - 小児歯科と一般歯科
 - 小児歯科と矯正歯科と一般歯科
 - その他の様式（ ）
- ⑦ 自院のアピール、他の「小児歯科を擁護している歯科医院」との差別化のためにやっていることがあれば教えてください
- （ ）
- ⑧ 開業・自院経営について他院への見学や相談の希望について
- 他の歯科医院への見学、相談をしたい
 - JSPFに開業・経営相談の部門を設けて欲しい
 - 見学・相談の希望はない
 - その他（ ）
- 【保険診療について】
- ① 先生の診療所のH27年3月の1か月あたりの保険収入は？
- ～10万円
 - 10～20万円
 - 20～30万円
 - 30～40万円
 - 40～50万円
 - 50～60万円
 - 60～70万円
 - 70万円以上
- ② 保険収入における自費診療の割合（ ）%
- ③ 保険診療を行っている上で、特に小児歯科分野で不合理性等を感じる部分があれば、ご記載ください
- （ ）
- 【来院する患者、診療内容について】
- ① 平成27年3月の患者数、小児患者（16歳未満）の割合
- 1か月あたりの受診患者数（ ）名
 - 16歳未満の小児患者数（ ）名
 - 3歳未満の小児患者数（ ）名
- ② 患者の来院動機で多いものから上位2つを選んでください
- う蝕治療
 - 歯予防・管理
 - 外傷
 - 歯ならびやかみ合わせ
 - 定期検診
 - その他（ ）
- ③ 治療に非協力的な小児についてはどのような対応をしていますか？（複数回答）
- トレーニング
 - 身体拘束
 - 笑気
 - その他（静脈鎮静法など）鎮静
 - 全身麻酔
 - その他（ ）
- ④ 他の歯科医院からの患者紹介や他の歯科医院での患者対応など、不満な出来事がありましたらご記入ください
- （ ）

ご協力ありがとうございました

3

一 小児歯科医療将来検討委員会アンケート 一

あてはまる番号・記号を○で囲むか、内容を○で記入ください。

- 【会員について】
- ① 会員の年齢・性別
- 20代
 - 30代
 - 40代
 - 50代
 - 60代
 - 70代以上
- （男・女）
- ② 開業後、JSPF入会歴・JSPFに希望すること
- 開業後（ ）年 状況：_____
- （現在の診療スタイルとなった時期から記入し、横から引き継いだ、医院の改築を機会になど状況を記入ください）
- ・JSPF入会歴 入会後（ ）年 わからぬ場合はおおよその年数でお願いします
- ・入会の動機
- JSPF会員（先輩、友人・知人）からの勧誘
 - 小児歯科学会会場で勧誘
 - JSPFの学会発表やJSPF全員のテーブルクリニックや講演会から興味を持って
 - 雑誌「小児歯科臨床」で見て
 - その他（ ）
- ・これからのJSPFの活動に望むこと
- 患者の紹介、診療依頼をしやすく
 - 小児歯科学会大会における講演会・テーブルクリニックなどの企画
 - 独自の学術企画（フォーラム、シンポジウム、テーブルクリニック、講演会など）を開催
 - 会員の地域での小児歯科活動の支援
 - その他（ ）
- ③ 貴院の後継者対策について
- 後継者（子弟）を、養成した（歯科大学を卒業または入学済）
 - 後継者（子弟）を、歯科大学に入学させたいと考えている
 - 後継者を養成する予定なし（子どもが希望しない等）
 - 歯科は、将来が不安なので後継させない
 - 子弟以外の後継者を予定
 - まだ、わからない
 - その他（ ）
- ④ 雑誌「月刊・小児歯科臨床」の購読について
- 定期購読している
 - 必要な時の購入
 - 購入していないが購読している
 - 購読していない
 - この雑誌を知らない
- ⑤ 小児歯科学会専門医について
- 専門医（指導医含む）、今後も更新するつもり
 - 専門医（指導医含む）、今後は更新はしない
 - 専門医（指導医含む）、更新するか否かはわからない
 - 専門医取得を目指している
 - 専門医取得するつもりはない
 - 認定医を持っている
 - その他（ ）

1

全国小児歯科開業医会各位

平成27年 3月 吉日

全国小児歯科開業医会
会長 丸山 進一郎
小児歯科医療将来検討委員会
委員長 鈴木 広幸

小児歯科医療将来検討委員会からアンケート調査のお願い

日頃より全国小児歯科開業医会（以下JSPFと略します）に格別なる御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

小児歯科医療将来検討委員会では、会のありかた、会員への支援の仕方そして会員数増加のための対策を考えるうえでの資料づくりをしたいと思っております。日々臨床や医院経営に関わる先生方の、各々の開業形態、診療様式、JSPFへの入会動機や要望などの調査から考察することで、JSPFの今後の活動を検討できればと思っております。

調査には医院ならびに先生方の個人情報に係る内容も含まれるため、当然のことながら、無記名（匿名性は担保されず）とし、また、知れた内容につきましてはJSPFとしての活動以外には使用いたしません。また、アンケート項目で回答を遠慮されたいような内容がございましたら、一部の項目は無回答のままでも、もちろん結構ですので、是非、回答にご協力ください。

上記の趣旨に基づき、アンケート調査を行わせていただきたく、ご多忙のところ恐縮ですが、ご協力いただければ幸いです。アンケート結果につきましては、4月末を目安にファックスで送信してまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

回答送信先ファックス： 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
△△歯科医院 □□ □□

【歯科医院の状況】

- ① 先生の診療所の履修について（複数回答可）
- 小児歯科
 - 一般歯科
 - 矯正歯科
 - 口腔外科
 - その他（ ）
- ② 歯科医院の診療様式
- 小児歯科専門の開業様式（咬合調整を含む）
 - 小児歯科・矯正歯科のみ開業様式（通常の成人に対する一般歯科は行わない）
 - 小児歯科と一般歯科
 - 小児歯科と矯正歯科と一般歯科
 - その他の様式（ ）
- ③ 歯科医院の規模について
- ユニット台数（ ）台
- 歯科医師 常勤（ ）名 院長含む
- 非常勤（ ）名 週 日勤務（ ）名 週 日勤務
- 歯科衛生士 常勤（ ）名
- 非常勤（ ）名 週 日勤務（ ）名 週 日勤務
- ④ 成人・一般患者を、診ていない先生にお尋ねします
- 小児歯科（または小児歯科・矯正歯科）のみの診療スタイルの医院の運営や経営上の観点からのメリット・デメリットについて
- 患者の集客性に優れている
 - 経営上の安定度が高い
 - 差別化が図れる
 - 材料・器材等簡便化できる
 - DH等人員費がかさみやすい
 - 患者希望の来院時間が片寄る
 - 診療時間がかかる割に点数が低い
 - 大人になると診てもらえない
- その他、専門性が高い小児歯科医院としてのメリット・デメリットがあれば是非お知らせください
- （ ）
- ⑤ 成人患者・一般患者も診ている先生にお尋ねします
- 一般歯科と小児歯科を共に行うことのメリット・デメリットについて
- 患者の集客性に優れている
 - 経営上の安定度が高い
 - 差別化は専門でなくとも十分に図れる
 - 材料・器材等簡便化しにくい
 - DH等人員費がかさみやすい
 - 患者希望の来院時間の片寄が少ない
 - 見上げ上がると、後工代がかさむ
 - 小児よりも成人のほうが、時間効率からみて点数が高いと思う
- その他一般歯科も行っている場合のメリット・デメリットがあれば是非お知らせください
- （ ）

2

年代	人数(名)	%
20代	0	0.0
30代	5	4.5
40代	22	19.6
50代	38	33.9
60代	44	39.3
70代	0	0.0
70代以上	3	2.7
	112	100.0

表 1 会員の年齢分布

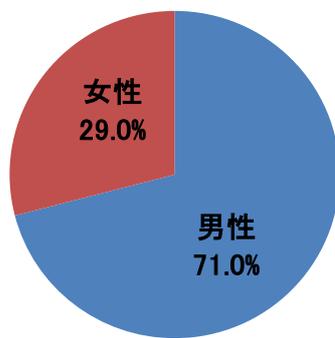


図 2

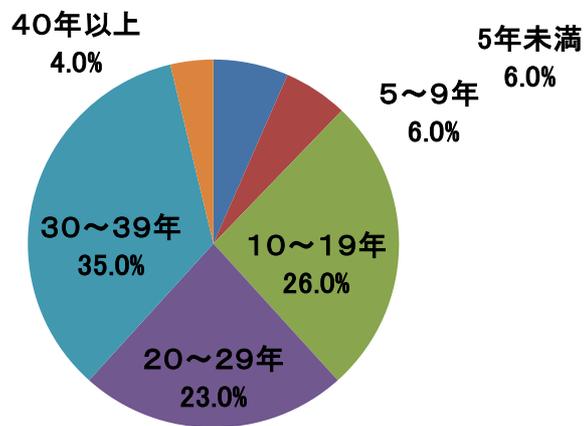


図 3 開業歴 (回答数 107)

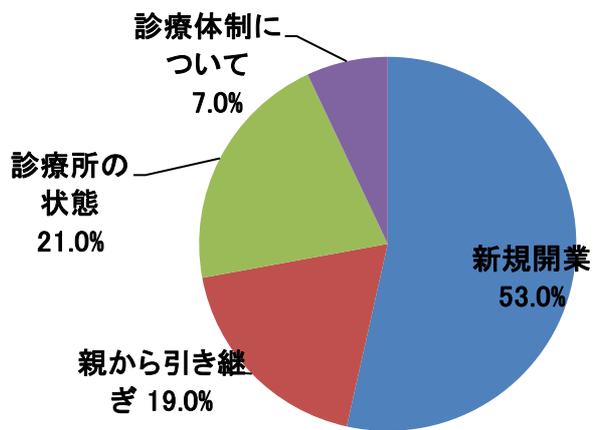


図4 開院の状況 (回答数 43)

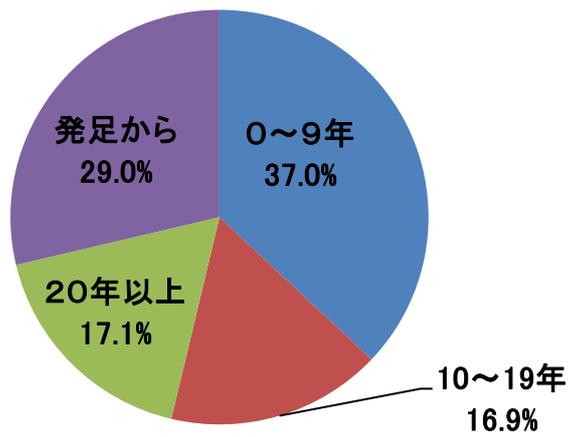


図5 入会歴 (回答数 108)

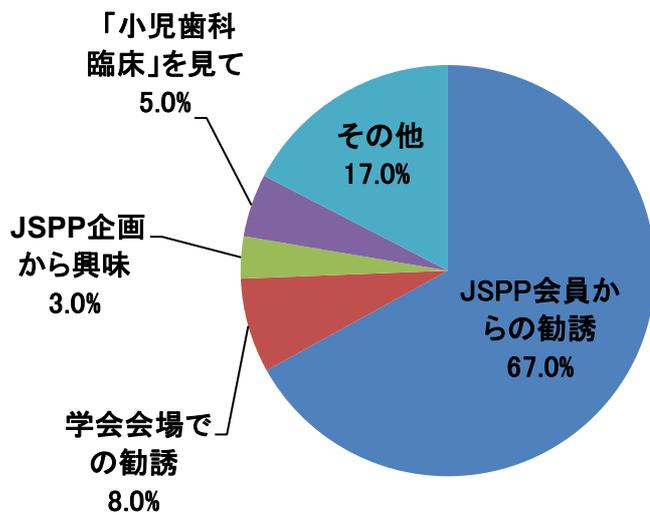


図6 入会の動機（回答数 121）

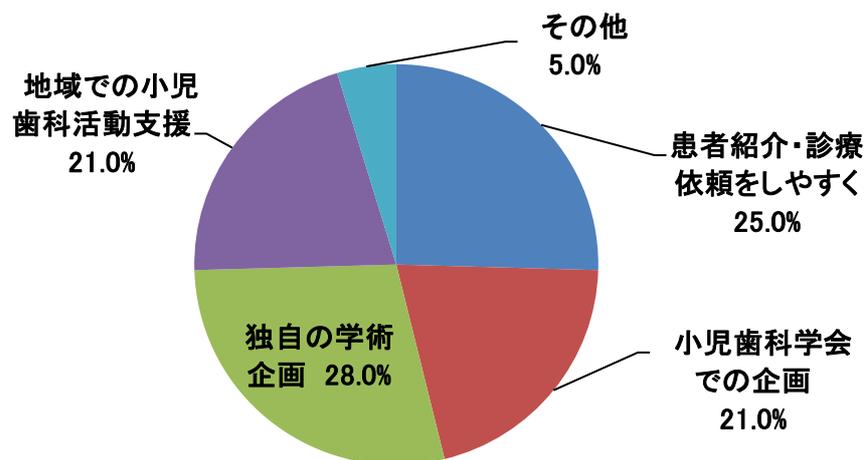


図7 これからの JSPP の活動に望むこと（回答数 121）

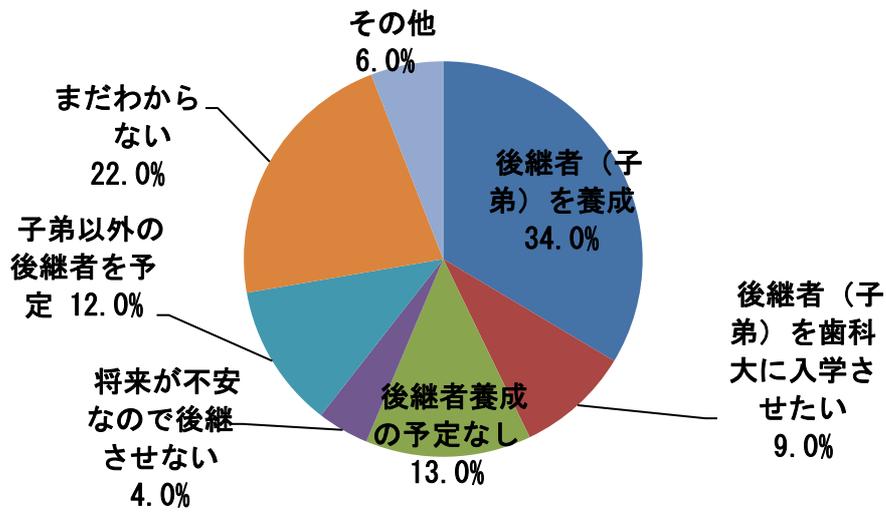


図8 貴医院の後継者対策について

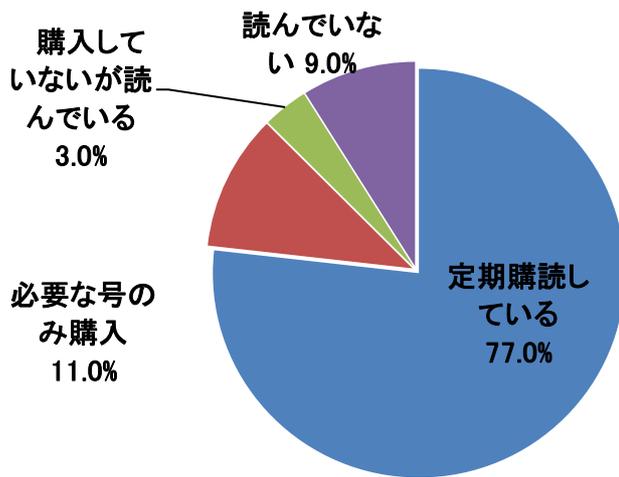


図9 雑誌「月刊・小児歯科臨床」の購読について（回答数112）

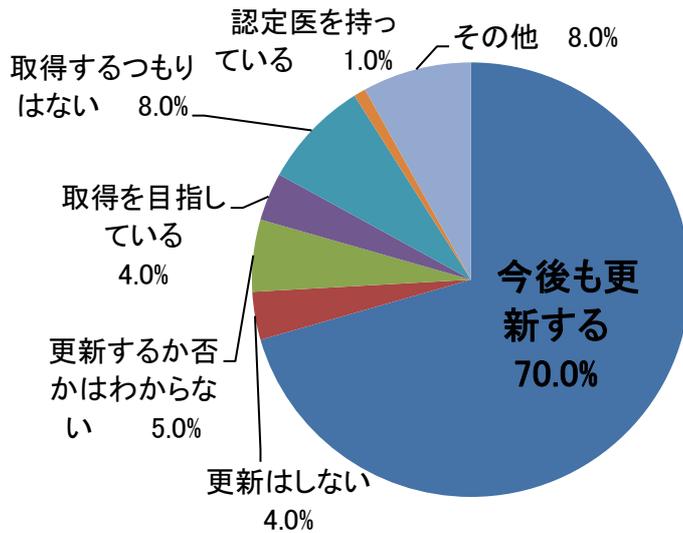


図 10 小児歯科学会専門医について (回答数 112)

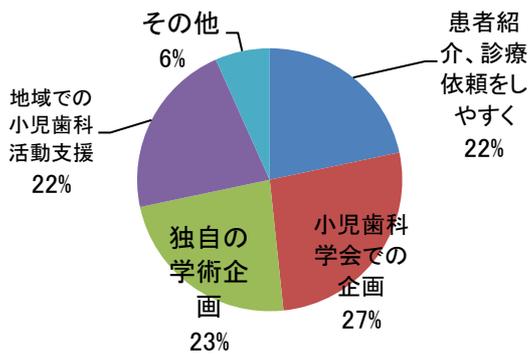


図 11 入会歴 0-9 年 (回答数 38 重複回答含む)

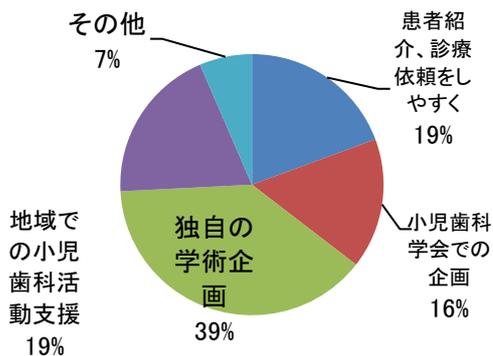


図 12 入会歴 10-19 年 (回答数 16 重複回答含む)

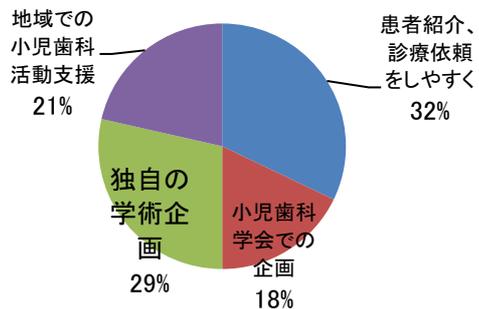


図 13 入会歴 20 年以上（回答数 17 重複回答含む）

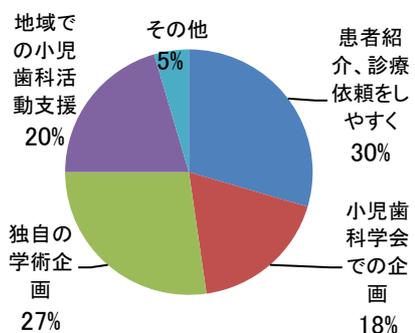


図 14 発足当初から入会（回答数 26 重複回答含む）

北日本	北海道	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	新潟県	
44	19	8	0	0	9	1	4	3	
関東	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	
94	4	1	3	23	10	37	16	0	
中部	愛知県	岐阜県	長野県	静岡県	三重県	富山県	福井県	石川県	
80	39	6	8	12	11	2	1	1	
近畿	滋賀県	京都府	奈良県	和歌山県	大阪府	兵庫県			
75	3	4	6	3	37	22			
中四国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
48	1	3	11	13	5	6	3	5	1
九州	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島	沖縄県	
65	25	3	15	4	3	3	7	5	

単位（名）

表 2 地方会別 JSPP 会員数（会員名簿 3）から作成